

第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス

キャンプでのコロナウイルス拡散を最小限に抑えるため、正しい清掃方法を実践することで、キャンプ参加者およびスタッフへのリスクを軽減することができる。清掃方法は、アメリカでの幼稚園から高校までの管理者向けガイダンスや、チャイルドケア・プログラム¹におけるCDCガイダンスなどの、アメリカ疾病予防管理センター（CDC）の指針に従う必要がある。²

基本的な清掃手順で推奨される方法として、洗浄と消毒の2段階³がある。「洗浄」とは、洗剤と水で洗い、土壌、有機物、および一部の微生物を表面から除去することである。洗剤と水による洗浄後の「消毒」では、アメリカ環境保護庁（EPA）が認可した消毒剤を使用する。この消毒剤は、製品メーカーのガイドラインに従い使用する必要がある。SARS-CoV2に対し使用できるEPAの消毒剤リストは以下で参照できる：

<https://www.epa.gov/pesticide-registration/list-n-disinfectants-use-against-sars-cov-2>

希釈した漂白剤は、EPAに承認された消毒剤の代わりに使用できる。幼児用玩具など、口に入る可能性のあるものには消毒剤を使用しない。洗浄用品の詳細については、以下の「洗浄液の選択と準備」を参照すること。

清掃頻度を高める⁴

共用スペース

- ・ 具体的な対策：公共スペースの清掃・洗浄および消毒は、1日1回以上行う。
- ・ **最善策**：共有スペースを使用するグループが交代するたび清掃・洗浄および消毒を実施する。もしグループ・アクティビティのスケジュールにより、十分な時間をかけ完全な消毒をした表面に消毒剤が残留してはならない場合、洗浄後の消毒は実行できないことがある。

共用備品

- ・ 具体的な対策：使用するたびに共有品を洗浄および消毒する。
- ・ **最善策**：可能な限り個人に備品を割り当て、共有する数を減らす。同様に、使用するたびに洗浄および消毒する。

¹ <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-schools.html>

² <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/reopen-guidance.html>..

³ Cleaning and Disinfection for Community Facilities: Interim Recommendations for U.S. Community Facilities with Suspected/Confirmed Coronavirus Disease 2019 (COVID-19). <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/disinfecting-building-facility.html>

⁴ Cleaning recommendations should follow at a minimum Appendix K of American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. 2019. *Caring for Our Children (CFOC): National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics.

頻繁に接触がある場所

- ・ 具体的な対策：頻繁に接触がある場所を、少なくとも1日1回は公共スペースを清掃および消毒する。
- ・ **最善策**：頻繁に接触がある場所および共用スペースを毎日複数回清掃および消毒する。

頻繁に接触がある場所は、例えばテーブル、噴水式水飲み場、ドアノブ、手すり、照明のスイッチ、カウンター上部、キャビネットのハンドル、机、電話、キーボード、洗面所、蛇口および洗面台を含む。その他のキャンプ参加者およびスタッフが頻繁に接触する場所は、少なくとも1日1回、できれば1日に数回、清掃および消毒する必要がある。

プラスチックまたは金属製の屋外構造物の洗浄は、キャンプ場の通常の洗浄方法により実施できる。柵や手すりなど屋外で接触が多い場所は、より頻繁に洗浄することを勧める。遊具やベンチなど屋外にある木製の表面は、キャンプ場の慣例的な方法によって洗浄し、必要に応じて目に見える汚れを落とすためより頻繁に洗浄する。

更衣室/ロッカールーム

- ・ 具体的な対策：頻繁に接触がある他の場所と同じく、更衣室またはロッカールームは毎日清掃および消毒する。
- ・ **次善策**：更衣室またはロッカールーム内の接触が多い場所は、1日に2回以上清掃する。
- ・ **最善策**：更衣室またはロッカールームの接触が多い場所は、使用者が変わるごとに清掃する。

トイレ、シャワー、洗面所

- ・ 具体的な対策：頻繁に接触があるほかの場所と同様に、トイレ、シャワー、および洗面所は毎日清掃および消毒する。
- ・ **次善策**：トイレ、シャワー、洗面所などの接触が多い箇所は、1日に1回以上清掃および消毒を行う。
- ・ **最善策**：トイレ、シャワー、洗面所など接触が多い場所は使用者が変わるごとに清掃および消毒を行う。

清掃スタッフ用個人用保護具（PPE）

PPEの要件を満たすために、使用する製品の安全データシート（SDS）を必ず参照すること。

- ・ 具体的な対策：希釈した漂白剤を含む洗浄液を準備する際、保護メガネと手袋を着用する必要がある。

- ・ **次善策**：保護メガネ、使い捨て手袋、ガウン/エプロンは、ゴミの処理を含む清掃プロセスのすべての作業において着用する。
- ・ 完了したら、すべての清掃スタッフは周囲を汚さないように注意しながら、最初にガウン/エプロンを取り外す。次に手袋を、内側からつかみ、裏返ししながら外す。石けんと水で少なくとも20秒間、十分に手洗いする。石けんと水がないか、手が明らかに汚れていない場合、アルコール含有量が60～95%のアルコール系手指消毒剤を使用する。ただし目に見える汚れが手についた場合は、必ず石けんと水で手を洗う。

洗浄方法

洗浄液の選択と準備

洗浄する場合、そのまま使えるあるいは水で希釈する一般的な家庭用洗剤で十分であり、メーカーの指示に従い使用する必要がある。

消毒の場合、コロナウイルスに特化した、「新型コロナウイルス性病原体」への効果をうたった接触時間が1分未満でよい製品を使用する。製品の有効期限を過ぎていないか確認する。消毒剤を使用できない場合、約1リットルの水に対して小さじ4杯の漂白剤を混ぜた、希釈した漂白剤を使用できる。⁵

多くの消毒剤は、皮膚や呼吸器に対し刺激を与える。非営利認証機関であるGreen Seal（グリーンシール）は、次の有効成分を持つ製品を選ぶよう推奨する：

- ・ 過酸化水素
- ・ クエン酸
- ・ 乳酸
- ・ エチルアルコール（エタノール）
- ・ イソプロピルアルコール（70%）
- ・ 次亜塩素酸

注：EPAのリストに記載されている製品の多くには、第4級アンモニウムまたは次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤として知られる）が含まれている。これら2つの成分を含む洗浄剤と一緒に使用したり、連続して使用したりしないこと。つまり、1種類ずつ使用する。消毒剤製品は、子どもたちの手が届かない場所に保管し、メーカーが用意したガイドラインに従い使用する必要がある。

⁵See Appendix J, Selecting an Appropriate Sanitizer or Disinfectant in AAP, 2019, *Caring for Our Children (CFOC): National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics.

洗剤スプレー溶液の作り方

1. 洗剤スプレーボトルを準備するスタッフは、保護メガネ/ゴーグルと手袋を着用する必要がある。
2. メーカーの指示に従い、希釈が推奨されている場合には、適切な量の洗剤溶液と水をスプレーボトルに充填する。じょうごを使えば、こぼれや飛散を減らすことができる。
3. スプレーキャップを交換し、油性マーカーを使って洗剤ボトルに内容物のラベルを付ける。
4. 清掃・洗浄作業を実施するスタッフ全員に洗剤メーカーの指示を知らせ、該当する安全データシートをファイルに保管しておく必要がある。

消毒スプレー溶液の作り方

1. 消毒剤スプレーボトルを作るスタッフは、保護メガネ/ゴーグルと手袋を着用し、メーカーの指示に従う必要がある。
2. メーカーの指示に従い、希釈が推奨されている場合は適切な量の消毒液と水をスプレーボトルに充填する。じょうごを使えば、こぼれや飛散を減らすことができる。
3. 希釈した漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）溶液は、約1リットルの水に対し小さじ4の漂白剤を加えて使用する。
4. スプレーキャップを交換し、油性マーカーを使って消毒ボトルに内容物のラベルを付ける。
5. 洗浄作業を実施するスタッフ全員に消毒剤メーカーの指示を知らせ、該当する安全データシートをファイルに保管しておく必要がある。

非多孔質（石、金属、プラスチックなど通水性のない素材）の基本的な洗浄方法

1. 清掃スタッフは保護メガネおよび使い捨て手袋を着用する。
2. 洗剤を使った洗浄液を使用して、非多孔質の箇所から15～20センチ離してスプレーし、清潔なペーパータオルで（またはメーカーの指示に従い）拭き取り目に見える汚れがあれば取り除く。
3. 消毒剤を塗布する前に、表面が乾いていることを確認する。
4. 消毒剤メーカーの指示を確認し、濃度、塗布方法、必要な接触時間を記録する。これは製品や洗浄活動の種類によって異なる。
5. 指示された時間だけ消毒剤を表面に残し、ペーパータオルで拭き取る。
6. 洗浄作業が完了したら、上記の「**清掃スタッフ用個人用保護具（PPE）**」の項で説明した通り、最初にガウン、次に手袋を取り外し廃棄する。PPEの項に記載されているように、石けんと水で少なくとも20秒間手を慎重に洗う。水がなく、目に見える汚れが手に付着していない場合手指消毒剤を使う。
7. 再利用できるエプロンまたは作業服は、使用後洗濯してから使う。

多孔質（布など、通水性のある素材）面の基本的な洗浄方法

CDCでは、ラグやカウチなど柔らかい多孔質の備品を取り除くかまたは減らすよう推奨する。こうした素材は、洗浄および消毒がより困難なためである。

現時点では、EPAが承認した多孔質の面において使える製品は多くない。有効成分として第4級アンモニウムと過酸化水素水が入っている製品が確認されているが、これらの成分はトレーニングを受けたスタッフが慎重に使う必要がある。また一部の製品メーカーの使用指示書には、カリフォルニアでの使用が承認されていないと記載されている。

1. 洗浄作業中は、保護メガネと手袋を着用する必要がある。
2. まず目に見える汚れがある場合それを取り除き、多孔質の箇所に使用するよう指定された適切な洗剤で洗浄する。
3. 洗濯できる場合は、メーカーの指示に従い、製品に適したできる限り高い水温を設定し、製品を完全に乾燥させる。下記の「洗濯」の項を参照する。
4. それ以外の場合、多孔質の面に適した消毒剤を使用する。注：一部の多孔質表面が消毒剤による洗浄に適していない場合、できるだけきれいに洗浄した後、3日間の使用および接触禁止を示す貼り紙をする。

COVID-19が確定あるいは疑わしい症例が出た場合の対処方法

感染者（または感染が疑われる人）が施設を訪問または使用してから7日以上経過している場合、清掃および消毒を追加する必要はなく、定期的な清掃・洗浄および消毒を続行すればよい。7日未満の場合、感染者（または感染が疑われる人）が使用したエリアを閉鎖し、以下の項目を実施する：

- ・ 可能であれば、ドアと窓を開け、その場の空気循環を促進する。
- ・ 呼吸による飛沫が収まるまで、最大24時間または可能な限り待ってからその場所の清掃と消毒を行う。屋外の施設や器具は、直ちに清掃してもよい。
- ・ 感染者（または感染が疑われる人）が使用していたすべての場所を清掃および消毒する。清掃中に換気システムを作動させる。
- ・ 感染源となる可能性のある領域（例：感染した参加者のキャビンやベッドなど）を消毒する際、専用の洗剤と消毒剤を使用する。清掃用具は、完全に洗浄および消毒するまで、他の場所の清掃には使用しない。
- ・ COVID-19の患者が建物（例：食堂、ジム、ベッドなど）またはキャンプの活動エリアに少なくとも15分間滞在したと思われるなら、清掃を強化するよう推奨する。

COVID-19が疑われる場合または確認された場合、以下の強化清掃手順に従う必要がある：

- ・最初に、目に見える汚れのある箇所を清掃してから、消毒を行う。具体的な清掃方法については、上記の項を参照する。「非多孔質の表面に対する一般的な清掃」および「多孔質の表面に対する一般的な清掃」。注：消毒の際は、コロナウイルスに特化した「新型コロナウイルス病原体」への効果をうたう、接触時間が1分未満でよい製品が推奨される。製品が有効期限を過ぎていないか確認する。
- ・可能であれば、再汚染の懸念がある再使用可能な布ぞうきんではなく、使い捨ての雑巾/ペーパータオルを使用して表面を拭く。すべての清掃・消毒用品（例：ペーパータオル、クロスワイパー、スポンジ、モップヘッドなど）はすべて、使用後に密封できる袋または容器に廃棄する。
- ・各エリアでは、手すり、ドアノブ、キャビネットおよび引き出しのハンドル、共用スポーツ器具またはクラフト用具などの接触が多い箇所に特に注意を払う。
- ・キャンプ参加者の宿泊施設周辺の全方位36mまでの範囲にある、すべての水平面と接触が多い箇所に焦点を当てて清掃・消毒を行う。トイレ全体とすべての共有スペースおよびアクティビティエリアを含む、感染者（または感染が疑われる人）が訪れ、使用または滞在したと特定されたエリアを清掃および消毒する。これには、工具、スポーツ器具などと共に、手すり、屋外のドアノブ、キャビネットのハンドル、洗面所のドアノブなど共通エリアにある接触の多い備品が含まれる。
- ・感染源となる可能性のあるエリアを消毒する際、専用洗剤と消毒剤を使用する。これらの清掃用品は、完全に洗浄および消毒されるまで他の場所の清掃には使用しない。
- ・感染源となる可能性のあるエリアを掃除する際、入り口から最も奥にある場所へと進み、消毒された面を再汚染しないようにする（つまり、自分が出る方向へ向かって清掃する）。
- ・カーペット敷きの床、ラグ、カーテンなど柔らかい多孔質の表面も、多孔質の表面に対する前述の手順を使って清掃する。注：一部の多孔質表面が消毒剤による洗浄に適していない場合、できるだけきれいに洗浄した後、3日間の使用および接触禁止を示す貼り紙をする。

個人防護用具（PPE）

- ・清掃スタッフは、強化清掃プロセスのすべての作業（ごみの処理を含む）において、保護メガネ、使い捨て手袋、マスク、ガウン/エプロンを着用する必要がある。
- ・手袋およびガウン/エプロンは、使用する消毒剤製品に適したものである必要がある。
- ・マスクは使い捨てで、強化清掃にのみ使用する。
- ・使用している洗剤/消毒剤や飛沫の危険性に応じて、フェイスシールドなど追加のPPEが必要になる場合がある。
- ・着用者とその周辺が汚染されないように、手袋とガウン/エプロンは慎重に取り外す。手袋を外した後、必ず手を洗う。
- ・感染者（または感染が疑われる人）がいた部屋や場所を清掃した後は、手袋を外す必要がある。手袋を外した後、直ちに手を洗う。

- ・ 清掃スタッフは、PPEの破損（例：手袋の破れなど）やウイルス接触の可能性があれば直ちに上司に報告する必要がある。
- ・ 清掃スタッフは、手袋を外した直後および感染者（または感染が疑われる人）に接触した直後など、20秒間石けんと水で手を洗う必要がある。石けんと水がなく目に見える汚れが手についてない場合、アルコール含有量が60～95%のアルコール系手指消毒剤を使用する。ただし目に見える汚れが手についた場合は、必ず石けんと水で手を洗う。

その他さまざまな清掃

食堂/カフェテリア

上記の「第5章 食品サービスに関するガイダンス」、および非多孔質の表面に対するガイダンスを参照のこと。

キーボード、ノートパソコン、電子機器の洗浄

- ・ 電子機器の洗浄については、メーカーの指針に従う。
- ・ 洗浄および消毒が可能なカバーの使用を推奨する。
- ・ タッチスクリーン式の電子機器の消毒には、アルコール拭きまたは70%以上のアルコールを含むスプレーを使用できる。

共有器具

- ・ 手で触れることの多い備品の共有を最小限にするため、個人が使う用具（例えば絵を書く筆など）は数を十分に用意し、または1つの参加者グループが一度に使用する備品や器具を制限し、使用するたびに洗浄および消毒を行う。
- ・ 最低限：共有備品は、少なくとも1日1回洗浄および消毒する必要がある。
- ・ 次善策：共有備品は、1日数回洗浄および消毒する必要がある。
- ・ 最善策：共有備品は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。

遊具

- ・ 最低限：遊具は、少なくとも1日1回洗浄および消毒する必要がある。
- ・ 次善策：遊具は、1日数回洗浄および消毒する必要がある。
- ・ 最善策：遊具は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。

洗濯

- ・ 他の洗浄作業と同じように、洗濯するときは手袋およびガウン/エプロンの着用を推奨する。マスクの使用も推奨する。
- ・ スタッフは、ウイルスの付着した粒子が空気中に拡散する可能性を最小限に抑えるため、洗濯物を振らないようにする。
- ・ 多孔質（布など、通水性のある）素材に適した消毒剤の使用を奨励する。メーカーの指示に従う。例：Lysol Laundry Sanitizer（ウイルスを不活性化するための方法については、15分間つけ置きする、など、メーカーの説明書の指示をよく確認

する。)

- ・ メーカーの指示に従い洗濯物に適した最も高い水温を設定し、適切に洗濯したら完全に乾かす。
- ・ 洗濯物を移動するためのカゴやカートは、その素材に応じて、前述の硬質か軟質の素材に関する洗浄方法に従い、洗浄および消毒する。
- ・ スタッフやキャンプ参加者が使用するフェイスカバー類は、定期的に洗濯する必要がある。使用済みのフェイスカバー類は、洗濯するまでは密封可能な入れ物（ゴミ袋など）に集めておく必要がある。

一般的に、スタッフはキャンプ参加者の持ち物を触らないようにする。もし参加者の持ち物を扱う必要がある場合、必ず手袋を着用する。もし可能であれば、使い捨ての手袋を推奨する。手袋が使用できない場合、スタッフはキャンプ参加者の持ち物を扱う直前直後に手を清潔にする必要がある。

検査

- ・ 具体的な対策：EPA承認の洗剤および消毒剤の使用、CDC推奨の清掃手順、および清掃および補充の記録を保守することにより、適切な清掃作業が実施されているかを確認する。
- ・ **次善策**：ポータブルATPふき取り検査を実施して、清掃状況を監査する。
- ・ **最善策**：コロナウイルスの存在を研究所で分析するための環境用ふき取り検査を実施する。

ふき取り検査のサンプル採取は、拭き取り検査において、採取したサンプルが、清掃の効果を検証するのに十分な条件を満たすよう、正しいサンプリング方法・計画によってのみサンプル採取すること。

詳細情報：

American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. 2019. *Caring for Our Children: National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics. http://nrckids.org/files/CFOC4_pdf-FINAL.pdf.

UCSF Institute for Health & Aging, UC Berkeley Center for Environmental Research and Children's Health, Informed Green Solutions, and California Department of Pesticide Regulation. 2013. *Green Cleaning, Sanitizing, and Disinfecting: A Toolkit for Early Care and Education*, San Francisco, CA: University of California, San Francisco School of Nursing. https://cerch.berkeley.edu/sites/default/files/green_cleaning_toolkit.pdf